

芦北町議会だより

うたせ

第61号

令和2年
5月18日発行

- 3月定例議会 P2
- 総務常任委員長報告 P5
- 建設経済常任委員長報告 P6
- 文教厚生常任委員長報告 P9
- 一般質問 P11
- 閉会中の継続調査 P12
- 議会のうごき・ちょっといっぱい P12

佐敷川緑地公園・桜並木

3月定例議会



議場内の様子

3月定例議会は、3月2日に招集され、13日までの12日間の会期で開催されました。上程された議案は、令和2年度当初予算をはじめ、令和元年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算並びに芦北町職員の公正な職務の執行の確保に関する条例の制定など30議案で、全て原案のとおり可決しました。また、最終日には、議員発議により、「町議会議員による町工事等への不当介入に関する調査特別委員会設置の決議について」が提出され、全会一致で委員会設置が決定しました。なお、一般質問は12日に行われ、新型コロナウイルスなどについて、町執行部の考えをたえました。

(議案の内容と結果は、4ページに掲載)

町長の施政方針と予算大綱(要約)

◎社会情勢と芦北町の状況

国においては、地方が人づくり革命の実現や地方創生の推進、地域社会の維持・再生、防災・減災対策等に取り組むつつ、安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和元年度を下回らないよう実質

的に同水準を確保することを基本として令和2年度地方財政対策が講じられています。

本町におきましても第二次芦北町総合計画を基本として、個別計画の着実な進捗を図る中で、「町民生活の安全・安心の実現」に向けて、積極的な施策の立案と実施を視点として、予算編成を行いました。

◎予算大綱について

歳入の町税については、九州新幹線に係る償却資産の特例適用期限の終了などによる固定資産税の増額により、前年度比1億4,489万円増となる19億4,186万円を計上しました。地方交付税につきましては、34億8,200万円を見込み、国・県支出金につきましては、合計15億9,696万円を計上しています。歳出は、一般会計98億2,300万円となり、特別会計及び水

道事業会計を合わせた令和2年度の予算総額は161億8,300万円となっています。

◎まちづくりの目標

- (1) 地域活力と雇用を生み出す産業づくり
- (2) 地域で守り育てるまちづくり
- (3) 郷土の未来を育む人づくり
- (4) 暮らしを支える基盤づくり
- (5) 住民と行政の協働のまちづくり

◎結び

個性輝く「ふるさと芦北町」の実現に向けて、次代を担う子どもたちのために、豊かさと誇りを未来へ受け継いでいく節目の年、飛躍の年となるよう、全力を傾注してまいります。

令和2年度 当初予算を可決 161億8,300万円

会 計 名		予 算 額	増減率
一	般 会 計	98億2,300万円	△10.6%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	29億5,400万円	△2.2%
	介 護 保 険 事 業	23億1,200万円	△0.3%
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億3,100万円	5.5%
	生 活 排 水 処 理 事 業	5,800万円	1.8%
	町 有 温 泉 事 業	1億1,300万円	8.7%
	奨 学 資 金 貸 付 事 業	2,900万円	11.5%
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	3億 800万円	8.8%
水 道 事 業 (公 営 企 業 会 計)		3億5,500万円	2.3%
合 計		161億8,300万円	△6.8%

令和元年度 3月補正予算を可決 7,835万円追加

会 計 名		補正額(増額)	補正後の総額
一	般 会 計	4,502万円	115億 864万円
特別 会計	介 護 保 険 事 業	3,333万円	23億7,622万円
今回補正が行われなかった会計		—	40億7,253万円
合 計		7,835万円	179億5,739万円

町議会議員による町工事等への不当介入に 関する調査特別委員会の設置を決定

議案第12号「芦北町職員の公正な職務の執行に関する条例の制定」の総務常任委員会の審査において、制定するきっかけとなったのが、議員による特定業者への有利な取り扱いを受けるよう要求する不適当と思われる事例があったとの報告があり、事実とすれば議会の一員として由々しき問題であり、議会全体の信用失墜になるとし、議員発議により事実解明のための調査特別委員会の設置を決定しました。

【委員会構成】委員長 寺本修一 副委員長 平松洋一
委 員 元山秀志、白坂康浩、宮内道則、林田耀宏、前田徹一

特別委員会・調査の状況

3月23日、第1回の調査特別委員会を開き、総務課長から不適当と思われる事例について説明を求めました。それによると、町総合コミュニティセンター建設工事の生コンクリート調達に関し、藤井公輔議員が町関係者に対し、特定の業者へ有利になるようその地位を利用し、またはその権限に基づく影響力を行使するものであったとの説明があり、これを受けて、4月16日まで、4回の委員会を開催し、関係者とされる竹崎町長、藤崎副町長、建設課長、前工事担当職員などから事情聴取を行っています。今後は、藤井公輔議員やその関係者からも事情聴取することとし、詳細な調査を進めて参ります。



調査特別委員会の様子

令和2年 第1回芦北町議会定例会議案等の審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
議 案 第 1 号	令和元年度芦北町一般会計補正予算(第5号)	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 2 号	令和元年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 3 号	令和2年度芦北町一般会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 4 号	令和2年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 5 号	令和2年度芦北町介護保険事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 6 号	令和2年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 7 号	令和2年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 8 号	令和2年度芦北町有温泉事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 9 号	令和2年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 10号	令和2年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 11号	令和2年度芦北町水道事業会計予算	概要等は、P3に掲載	可 決
議 案 第 12号	芦北町職員の公正な職務の執行の確保に関する条例の制定について	職員の公正な職務の執行の確保を図り、町政に対する町民の信頼を確立するための条例	可 決
議 案 第 13号	芦北町学校教育施設整備基金条例の制定について	学校教育施設の整備に要する経費の財源に充てるための基金条例	可 決
議 案 第 14号	芦北町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	法律等の一部改正に伴う改正	可 決
議 案 第 15号	芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	国の事務処理要領改正に伴う改正	可 決
議 案 第 16号	芦北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	国の基準改正に伴う改正	可 決
議 案 第 17号	芦北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	国の基準改正に伴う改正	可 決
議 案 第 18号	芦北町営温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について	湯浦温泉センター、計石温泉センターの入浴料見直しに伴う改正	可 決
議 案 第 19号	芦北町営湯浦温泉観光センター条例の一部を改正する条例の制定について	湯浦温泉観光センターの入浴料見直しに伴う改正	可 決
議 案 第 20号	芦北町吉尾温泉公衆浴場条例の一部を改正する条例の制定について	吉尾温泉公衆浴場の入浴料見直しに伴う改正	可 決
議 案 第 21号	芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について	御立岬温泉センターの入浴料見直しに伴う改正	可 決
議 案 第 22号	芦北町大野温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について	大野温泉センターの入浴料見直しに伴う改正	可 決
議 案 第 23号	芦北町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	民法の一部改正に伴う改正	可 決
議 案 第 24号	芦北町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	民法の一部改正に伴う改正	可 決
議 案 第 25号	地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	地方自治法等の一部改正に伴い、改正が必要となる条例を一括して改正する条例	可 決
議 案 第 26号	芦北町立幼稚園条例を廃止する条例の制定について	町立芦北幼稚園を令和元年度末で閉園するため	可 決
議 案 第 27号	芦北町社会教育施設条例の一部を改正する条例の制定について	生涯学習センター内の余剰スペースを活用し、継続して営利を目的として使用する場合の使用料を定めるため	可 決
議 案 第 28号	芦北町新町建設計画の変更を定めることについて	合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の改正に伴い、計画期間などを変更するもの	可 決
議 案 第 29号	財産の無償貸付けについて	廃校後の校舎の有効活用と地域おこし協力隊の起業及び地域への定着支援のため、財産を無償で貸し付ける	可 決
議 案 第 30号	財産の取得について	芦北町総合コミュニティセンター歴史資料展示室展示・保管用什器購入に係るもの	可 決
発 議 第 1 号	町議会議員による町工事等への不当介入に関する調査特別委員会設置の決議について	議員による特定業者への便宜強要疑惑調査のための委員会設置	可 決

総務常任委員長報告

― 抜粋 ―

議案第3号「令和2年度芦北町一般会計予算」

令和2年度の一般会計予算総額は、前年度比11億6,200万円減の98億2,300万円が計上されています。地方交付税は、合併算定替えによる上乗せの終了や町税の増などにより前年度比1億1,200万円減の34億8,200万円が見込まれ、町債は、臨時財政対策債など6億9,890万円が措置されています。

【企画財政課】

企画財政課では、前年度比8,453万4千円増の14億3,274万7千円が計上されています。

増額の主な要因は、ふるさと応援寄附金の増に伴う事務経費の増などによるものです。

芦北高校総合支援事業、移住定住対策、公共交通対策など継続して取り組まれます。



御立岬を走るツクールバス

ふるさと応援寄附金事業では、芦北町の魅力発信と、寄附者のリピート率向上に向けた季節ごとのパンフレットを作成するなど、町内企業等と連携し充実が図られます。

主な質疑としては、乗合タクシー（まちなか）運行経路検討業務委託料と乗合ワゴン実証運行委託料について質疑があり、乗合タクシー（まちなか）運行経路検討業務委託料は、乙千屋や湯南など、まちなか周辺の公共交通空白地域での試験運行のための委託料で、乗合ワゴン実証運行委託料は、再編後もツクールバスに移行していない2路線分の委託料であるとの答弁がありました。

【総務課】

総務課では、前年度比691万5千円増の13億9,261万8千円が計上されています。

増額の主な要因は、各種基金の積立額の増などによるものです。

時代の変化や行政課題に対応するため、効率的な行政組織の見直しや定員の適正化など、行政組織の強化に努められます。

防犯対策では、令和2年度から新たに地域団体や町民の自主的な防犯及び交通安全活動を支援するため、防犯カメラを設置する者に対し補助金を交付し、安全安心なまちづくり



地域間交流スポーツグラウンド設置

くりの推進が図られます。

主な質疑としては、個別施設計画策定支援業務とはどのようなものかとの質疑があり、200㎡以上の55施設において建物の劣化状況等を確認できる「施設カルテ」の作成を行い、建物の劣化状況のほか、利用頻度、維持経費を把握し、長寿命化を図るものであるとの答弁がありました。

【議会事務局】

議会事務局では、議会費と監査委員費において、1億1,676万8千円が計上されています。議員1名の欠員による議員報酬等の減により前年度比378万3千円の減額となっています。

【会計室】

会計室では、前年度比163万1千円増の357万2千円が計上されています。

主な質疑としては、指定金融機関職員派遣手数料は、今回初めて予算計上されているが、他市町村はどうなっているのかとの質疑があり、JIAを指定金融機関にしている市町村は、本町を含め10市町村あり、2つの町で支払っているとの答弁がありました。

るとの答弁がありました。

【税務課】

税務課では、前年度比558万2千円減の1億3,119万9千円が計上されています。

減額の主な要因は、地方税共通納税システム導入等委託、土地情報データベース標準交換業務委託の業務完了などによるものです。

主な事業として、固定資産税課税土地評価業務委託など、賦課徴収、税務の業務に關して必要な経費が計上されています。

主な質疑としては、歳入の固定資産税が増額となった要因について質疑があり、償却資産に係る総務大臣配分額の増額によるものとの答弁がありました。

議案第12号「芦北町職員の公正な職務の執行の確保に関する条例の制定」

この条例は、本町の職員が公務を遂行する上で受ける不当要求行為等に対して、町として統一的な対応方針等を定め、的確に対応することによ

り、職員の公正な職務の執行を図り、町政に対する町民の信頼を確立することを目的に制定するものであるとの説明がありました。

主な質疑としては、「社会的相当性を逸脱した手段により機関誌及び図書等の購入」とあるが、どのようなものを想定しているのかとの質疑があり、発注していないにもかかわらず、一方的に機関誌な

どを送りつけ、後日、請求書を送付し代金を支払うよう要求する行為などを想定しているとの答弁がありました。

次に、この条例で規定する不当要求がこれまでにあったと考えていいのか、また、あったのであれば具体的に説明してほしいとの質疑があり、その地位を利用し、またはその権限に基づく影響力を行使して、町が発注した工事の資材

調達に關し、特定の事業者等が有利な取扱いを受けるよう要求する不適当と思われる行為があったとの答弁がありました。

なお、具体例の説明において、その地位を利用し影響力の行使と疑われるのは、芦北町議会議員及び団体役員と認識している旨の答弁もあつて

建設経済常任委員長報告

― 抜粋 ―

議案第3号「令和2年度芦北町一般会計予算」

【建設課】

交通・情報通信ネットワークの整備に関する事業において、社会資本整備総合交付金を活用し、町道の舗装工事や橋りょうの定期点検、補修工事などが実施されます。このほか町道の整備について、計画的な改良工事や維持補修工事、交通安全施設設置工事など通行の安全確保のための予

算が措置されています。

安全・安心なまちづくりに關しては、排水対策事業として、3地区の地区内排水路整備事業補助金と、砂防費として7地区の急傾斜地崩壊対策事業費負担金、また、引き続き危険ブロック塀等安全確保支援事業補助金が措置され、住民の安全安心の向上を図るための事業が計画されています。

快適で住みよい暮らしづくりにおける住宅等の整備では、長寿命化計画に基づき五

本松団地の外壁工事が実施され、他の団地においても適正な維持管理など、入居者の住環境整備向上のための予算が措置されています。

以上、歳出総額は、6億2,002万円で、前年比21.9%の減となり、減の主な要因は町道射場芦北線改良工事の終了によるものとなっています。

委員から、河川の浚渫について、4月から交付金等を活用した取組みが始まるようであるが、これに取組む考えは

ないかとの質疑に対し、今のところ対象となる河川の基準が示されていない。詳細が分

かり活用できるなら積極的に取り入れていきたいとの答弁がありました。



改修中の山崎橋

【農林水産課】

農業振興については、新規就農者を支援するため、国の農業次世代人材投資資金を活用し、次代を担う人材の確保と育成に取組むとともに、労働力を確保するため農作業の委託に対する支援の予算が措置されています。

果樹振興では、優良品種の苗木導入、品質向上資材の購入及び生産基盤となるハウスの修繕などに対する支援が引き続き行われます。

また、畜産業については、優良血統の素牛導入に対する支援など、更なるあしきた牛のブランド化に向けた取組みが計画されています。

鳥獣被害対策では、猟友会への有害鳥獣捕獲等に対する支援を継続するとともに、狩猟免許取得支援をはじめ、防護柵や電気柵設置などの支援に関する予算が措置されています。

農業農村整備については、国見地区及び芦北宮浦地区などの、基盤整備を推進するとともに、計石地区の基盤整備実現に向けた取組みも行われます。

林業振興では、利用期に達

した森林の伐採や搬出作業に伴う支援が引き続き計画され、皆伐後の荒廃や苗木の食害を防ぐため、植林や下刈り作業及びシカネットの設置に対する支援も予算措置されています。

漁業の振興

については、農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に登録された、田浦銀太

刀の更なるブランド力強化に対する支援が、また、漁港整備事業では、田浦及び牛の水漁港海岸施設の機能診断調査が計画されています。

以上、歳出総額は、4億5,226万8千円となり、前年比2.6%の増となっています。

委員から、不知火海海底耕運はどのようなことを行うのか。また、実施場所はどこを予定しているのかとの質疑に対し、うたせ船のケタを利用



田浦銀太刀

【上下水道課】

し、海底を掘り起こし清掃する作業で、井牟田地先の約100haを予定している。なお、この事業は今後も計画的に実施する予定であるとの答弁がありました。

農業集落排水事業及び生活排水処理事業特別会計繰出金の外、浄化槽設置整備事業については、合併浄化槽45基分の補助金が計上されています。

す。また、飲料水供給施設整備事業では、小規模集落における安定的な生活用水の確保に向け、3水道組合に対しての補助金が措置されておりま

す。歳出総額は2億690万6千円、前年比2.1%の減となっています。

委員から、飲料水供給施設支援事業における3組合への補助はどの地区かとの質疑に対し、桑原地区水道組合、大野の泥汭下地区水道組合、高岡の鳥屋尾地区水道組合であるとの答弁がありました。

【商工観光課】

商工業振興については、町内での消費喚起による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券発行補助金が引き続き措置されています。

企業誘致については、IT企業の集積に向け廃校等を活用したサテライトオフィス誘致活動とともに、進出したIT企業と連携し、ICTを活用した地域課題解決への取り組みが行われます。

観光振興については、観光うたせ船を活用した観光商品の販売や、町内を舞台としたアニメを活用した情報発信と



芦北サテライトオフィス計石

ともに、観光うたせ船の担い手確保のため、地域おこし協力隊の確保の取り組みが行われます。

芦北海浜総合公園、御立岬公園、温泉センター及び物産館については、計画的な施設の維持修繕等のための予算が措置され、利用環境の改善や適正な施設運営に努めるとともに、御立岬公園については、キャンプ場等の新たな整備も視野に入れた活性化計画策定の取組みが計画されています。

ます。

歳出総額は、4億7,898万8千円、前年比0.1%の増となっています。

委員から、サテライトオフィスなど企業進出に伴う雇用はどの質疑に対し、旧計石小では2社が操業し2名が移住され、1名が地元雇用されている。今後も2社程度の進出を見込んでいる。旧小田浦小に進出した企業は5名程度を採用し、3月末から操業予定であるとの答弁がありました。

議案第6号「令和2年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」

令和2年度は、処理施設の長寿命化を図るため、芦北地区処理場の更新に伴う、実施設計に係る予算が措置されています。

委員から、総務管理費にお

いて、令和元年度と比較し954万5千円増となっているがその要因はなにかとの質疑に対し、芦北地区処理場更新事業に係る実施設計委託料による増であるとの答弁がありました。

議案第7号「令和2年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」

町が管理する浄化槽からの放流水の状態に応じ、効率的な管理が計画されており、歳出総額は5,800万円、前年比1.8%の増となっています。

委員から、町内において、し尿の汲み取りを行っているのは何割ほどかとの質疑に対し、汚水人口普及率は68.7%となっており、約3割が汲み取り及び単独浄化槽であるとの答弁がありました。

議案第8号「令和2年度芦北町有温泉事業特別会計予算」

各施設において、経費増加に対応するための入浴料の見直しが行われ、快適な利用環境を確保するための予算が措

置されており、歳出総額は、1億1,300万円、前年比8.7%の増となっています。

委員から、料金改定において、湯浦温泉センターと計石温泉センターの3歳未満の入浴料が無料になつていないため、今後、無料とするよう検討する考えはないかとの質疑に対し、利用実態や民間との調整も必要と思われるので今後の検討課題としたとの答弁がありました。

議案第11号「令和2年度芦北町水道事業特別会計予算」

令和2年度は、水道の安定供給のための施設や管路の更新及び耐震化のための予算が措置されており、今後も水道事業長期計画に基づき、老朽化した施設等の更新を行い、安定した事業経営に取組んでいくとの説明がありました。

委員から、水道事業の民営化について、どのように考えているかとの質疑に対し、昨年の一般質問でもお答えしたが、芦北町の経営は安定しており、民営化を検討とする段階ではないと考えているとの答弁がありました。

文教厚生常任委員長報告

— 抜粋 —

議案第3号「令和2年度芦北町一般会計予算」

【福祉課】

前年度に対し、1億7,221万3千円減の23億5,103万9千円が計上されています。

減額の主な要因は、保育所等整備事業補助金の減などによるものです。

高齢者福祉においては、第7期事業計画に基づき、ひとり暮らし高齢者等への緊急通報装置貸与事業、施設入所・老人クラブ活動などへの支援を引き続き行うとのことでした。



障害者福祉においては、障害者プランに基づき、関係機関・団体と連携を図りながら適切な福祉サービスの提供に努めるという説明がありました。

主な質疑は、災害時避難行動要支援者避難支援事業の減額理由は何かとの質疑に対し、同事業システム導入委託料の減によるものとの答弁がありました。

【住民生活課】

前年度に対し、1,081万7千円減の12億9,530万6千円が計上されています。

減額の主な要因は、後期高齢者医療事業負担金及び水保芦北広域行政事務組合負担金の減などによるものです。

各業務においては、マイナンバーカードやパスポート申請などの事務処理に努めるとともに、「うたせ船で水保病を学ぶ講座」、「もやい祭り」及び水保病発生地域高齢者等在宅支援事業に引き続き取り組

んでいくとの説明がありました。

主な質疑は、海岸漂着物対策関係で具体的な内容はとの質疑に対し、漂着ゴミ回収については芦北町漁協、処分については町が許可をしている業者者に委託をしているとの答弁がありました。

【健康増進課】

前年度に対し、69万4千円減の2億579万3千円が計上されています。

平成30年度から6年間を計画期間とする「芦北町健康づくり推進計画」に基づき事務事業を行っており、令和2年度については、新たに芦北町子育て世代包括支援センターを健康増進課内に設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を構築していくとの説明がありました。

主な質疑は、予防接種事業の増額理由は何かとの質疑に対し、令和3年度までの追加的対策事業で、対象者に対して風しんの抗体検査と予防接

種を行うとの答弁がありました。

【教育課】

前年度に対し、173万9千円減の4億6,716万1千円が計上されています。

減額の主な要因は、幼稚園管理運営事業の減などによるものです。

学校教育については、教育現場に精通した指導主事を配置し、ICT機器を活用した効果的・効率的な事業を推進



ICT機器を活用した授業(佐敷小学校)

していくとともに、「気になる児童・生徒」に対して支援員を配置し、きめ細かな指導を行うとの説明がありました。

主な質疑は、小学校教育振興事業の増額及び新学習指導要領の改正点は何かとの質疑に対し、教科書等の購入費増と主な改正点は、知識及び技能並びに思考力、判断力、人間性などを重点項目として、すべての教科書において構成がなされているとの答弁がありました。

【生涯学習課】

前年度に対し、8億9,440万7千円減の6億4,944万1千円が計上されています。

減額の主な要因は、総合コミュニティセンター整備事業などの減によるものです。

演能会やトップアスリート誘致事業などを引き続き開催し、佐敷東の城跡調査検討委員会の設立や町誌のダイジェスト版を刊行するとともに、芦北町総合コミュニティセンターオープンに向けた整備を進めていくとの説明がありました。

主な質疑は、町民総合センター改修設計業務委託の改修箇所及び築年数はその質疑に対し、改修箇所は空調・電気・天井・外壁・屋根などが想定され築23年目であるとの答弁がありました。

議案第4号「令和2年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算」

事業勘定については、前年度に対し、6,500万円減の29億3,200万円が計上されています。

直診勘定については、前年度に対し、200万円減の2,200万円が計上されています。

主な質疑は、全体的な予算額減の理由はその質疑に対し、被保険者数の減であるとの答弁がありました。

議案第5号「令和2年度芦北町介護保険事業特別会計予算」

前年度に対し、600万円減の23億1,200万円が計上されています。

第7期芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、引き続き地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業の取組みと在宅医療・介護連携推進事業や認知症総合支援対策に取組んでいくとの説明がありました。

主な質疑は、居宅介護サ―

ビス及び地域密着型介護サ―ビスなどの状況はどのようなになっているかとの質疑に対し、居宅介護や地域密着型介護は増加傾向で介護予防サ―ビスは減少傾向であるとの答弁がありました。

議案第9号「令和2年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」

前年度に対し、300万円増の2,900万円が計上されています。

主な質疑は、滞納者の現状はその質疑に対し、連帯保証人も含め、文書や電話で催告しており滞納額は年々減少しているとの答弁がありました。

議案第10号「令和2年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」

前年度に対し、2,500万円増の3億800万円が計上されています。

令和2年度も疾病の早期発見と重症化の防止に努め、医療費の適正化を図るとの説明がありました。

主な質疑は、保険料の改定

はどのようなになっているかとの質疑に対し、運営主体は熊本県広域連合になるが、一人当りの医療費が増えているため、今回、均等割及び所得割の保険料率の改定が8年ぶりに行われるとの答弁がありました。

議案第13号「令和2年度芦北町学校教育施設整備基金条例の制定について」

この条例は、旧小中学校を民間事業者へ有償貸与するに当たり、文部科学省通知に基づき、国庫納付を必要とせず財産処分承認を受けるため、本町が設置する学校教育施設の整備に要する経費に充てることを目的とした基金を設置する必要があるため制定するものであるとの説明がありました。

主な質疑は、本条例の制定はなぜこの時期かとの質疑に対し、旧計石小学校の2階部分が令和元年12月から有償貸付けになり、国の有償貸付承認後1年以内に基金を積立てなければならぬためとの答弁がありました。

主な質疑は、保険料の改定



新体操・フェアリーシャバ合宿
(令和2年1月 しろやまスカイドーム)



坂本議員

一般質問 (抜粋)

新型コロナウイルス感染症 対策を問う！

質 新型コロナウイルス感染症の実態、検査態勢、医療機関等への支援を含め最新情報は。また、自治体に対し国の財政支援はどうか。

答 町長

政府から発信される最新情報を的確に把握するとともに、咳エチケットや頻繁な手洗いなど、有効な感染拡大防止策の周知を図っており、引き続き行っていく。

答 健康増進課長

PCR検査の県内の検査体制は、県の機関である熊本県保健環境科学研究所及び熊本市立の2検査機関があり、1日の検査能力は県及び熊本市の機関合わせて70件となっている。

答 企画財政課長

3月11日現在、小学校の臨時休業に伴い、追加で生じる放課後児童健全育成事業に係る費用は、国庫負担割合を10分の10として補助する予定であること、また、政府の緊急対応策の一部事業で生じる地方負担額の80%を特別交付税で措置する予定であること、通知は既に受けている。

質 役場内に相談窓口を設置する考えはないか。

答 健康増進課長

相談窓口の設置は考えていない。基本的に疑いのある方の相談に関しては、保健所の相談窓口に限定されており、役場に相談があった場合も水俣保健所の相談窓口を紹介している。

地球温暖化による気 候危機への対策は

質 地球温暖化が原因で激甚化する自然災害が頻発し、多くの人命が奪われている。気候危機について、町長の認識は。また、町として気候非常事態宣言を出し対応する考えはないか。

答 町長

気候危機については、地球温暖化に起因すると言われる局地的集中豪雨や大型台風等、極端な気象現象の発生や生態系の変化など、急速に気候変動が進んでいる状態のことで、非常に重要で身近な環境問題であると認識している。気候非常事態宣言は、国



氾濫する河川(平成24年撮影 天月川)

においてもまだ出されていない状況で、環境問題に対しては、芦北町環境基本計画に基づき事業に取り組んでおり、現段階では宣言を出す考えはない。

ひとり暮らしの高齢者が安 心して暮らせるまちづくり

質 ひとり暮らしの高齢者が近隣住民との接点をもち続けられるよう、「見守り活動」をさらに強化する考えはないか。

答 福祉課長

民生委員・児童委員や老人

クラブでは、一人暮らし高齢者宅の訪問活動を定期的に行い、孤立防止に努めている。また、芦北町見守りネットワークや熊本見守り応援隊において、各事業所と協定を締結し見守り活動を展開し、さらに、水俣・芦北地域見守り活動推進事業では、地域福祉活動推進員による一人暮らし高齢者の安否確認や、地域住民が参加する災害図上訓練では、一人暮らし高齢者がここに住んでいるかなどの把握を行っている。そのほか、介護保険事業における食の自立支援事業では、配食と併せて一人暮らし高齢者の安否確認を行い、緊急通報システム事業では警備会社による24時間の緊急通報体制や定期的な安否確認コールにより、迅速かつ適切な対応に努めており、見守り活動の強化は十分果たされているものと考えている。



議会のうごき

- 1月16日 議会広報委員会
- 2月 5日 建設経済常任委員会
(閉会中の継続調査)
- 14日 熊本市町村議長会定期総会
- 25日 議会運営委員会
- 25日 議員全員協議会
- 3月 2日 3月定例会(議案審議)
- 3日 総務常任委員会
- 3日 文教厚生常任委員会
- 4日 総務常任委員会
- 4日 建設経済常任委員会
- 6日 文教厚生常任委員会
- 6日 建設経済常任委員会
- 12日 3月定例会(一般質問)
- 13日 3月定例会(議案審議)
- 23日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
- 23日 議会広報委員会
- 23日 町議会議員による町工事等への不当介入に関する調査特別委員会
- 4月 2日 "
- 9日 "
- 16日 "

閉会中の継続調査

建設経済常任委員会

令和2年2月5日、豪雨等により崩壊や決壊の恐れのある佐敷川の危険箇所について、建設課及び管理者である芦北地域振興局土木部との合同による現地調査を実施しました。調査では、土砂の堆積や堤防高が不足していると思われる箇所について、管理者から管理状況を説明いただき、いくつかの要望については今後検討することとした。



傍聴に来てください



次の議会は6月中旬の予定です。

議会広報委員会

委員長	委員	委員	委員
藤井 公輔	川尻 成美	元山 秀志	寺本 順一
宮内 道則	林田 耀宏		

(林田耀宏)

春の甲子園も中止になり、高校生の流している涙を見ているとやるせない気分になります。
テレビを見ると毎日コロナウィルスの報道、そして自粛、自粛で気持ちも萎縮してしまいうです。
病は気からと言います。
正しい予防策をすると同時に、楽しいことを思い、気持ちを明るくして元気を出して行こうと思います。

武漢から始まった新型コロナウイルスは、あつという間に世界中に拡大しました。本来ならば、卒入学の式典やお祝いごとなど、それにイベントや花見など心も踊る季節です。

